

# 子どものネット・トラブル！ どう防ぐ？

子どもたちがインターネットがらみのトラブルに巻き込まれる事案が後を絶たない。特に、合格祝いや入学祝いなどで初めてスマートフォンを手にする子ども多いこの時期。子どものネットトラブルをどう防いだらいいか。教育情報化コーディネーター さん( )の寄稿を10回前後の企画で連載する。

暦の上では春。高校合格の吉報を受け取る中学3年生が徐々に増えていく時期だ。人生最初の大きな関門を突破した3年生には心から祝福を捧(ささ)げたい。しかし、2、3月は子どもたちがとって深刻かつ重大なネットトラブルが頻発する時期でもある。特に3年生は要注意。高校合格と同時に、多くの生徒が親の承諾の下、スマホを持ち始めるからだ。

さまざまな機能を習得し、憧れのサイト、やりたかったサービスを端から試し、スキルとテクニックを上達させていく子どもたち。そんな彼らを批判するつもりは毛頭ない。しかし、この時期のネット初心者、畏(わな)や悪意に気付かず、深刻なトラブルに遭遇する例が後を絶たない。知らずに悪質な成人向け有料サイトに登録され、大金を請求されたり、気軽に入会したSNSで自分の個人情報や全公開してしまったり、個人が特定できる写真を公開してしまうたり。ネットでは知り合った知らない異性と実際に会いトラブルになった事例もある。

## 中学3年生は要注意

## 親子で正と負の情報共有



イラスト・津田周平

両方の情報を共有すること。もつといえは「今まで以上に生のコミュニケーションを深める」とだ。

最初からこの全てを話し合うのは無理かもしれない。しかし、何もなければ、狡猾(こつこつ)な良のある、善意と悪意が混ざった混沌(こんとん)とした世界へ無条件で子どもたちを放り出してしまつと同じ。

大人は子どもたちを守るために、できることをすべきだと思う。最新デジタル機器のトラブル回避法は、実はそれと真逆な、「人の温もりある、生のコミュニケーション」にこそある。こんな時代だからこそ、それを大切にしていきたいと思う。

(イラストは本紙・津田周平)

ここで、いつ使うのか)  
②契約・お金の話をする(容量超過の追加課金の可否、ケータイ払い決済の可否等)  
③親もロック解除できる状態にしておく(パスワード共有、親の指紋認証を登録等)  
④SNS、ネットゲーム利用の可否とルール、課金の有無を確認  
⑤フィルタリングを設定  
端的にいえば「正と負、定。

\*この企画は原則として木、土曜日付に掲載します。次回は25日付の予定です。